

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	西区土木部維持管理課(667-3201)
-----	-------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①農試公園 ②発寒西陵公園	所在地	①西区八軒4条西6丁目、5条西6・8丁目 ②西区発寒16条1丁目
告示年月日	①昭和50年2月28日 ②昭和63年3月31日	面積	①123,912㎡ ②42,225㎡
公園種別	①運動公園 ②地区公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	農試公園、発寒西陵公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①屋内広場、多目的広場、交通コーナー、トンカチ広場、遊水池、野球場、庭球場 ②少年野球場、庭球場、ゲートボール場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 ----- 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:2 ----- 複数施設を一括指定の場合、その理由:当該公園は維持管理、施設保守、修繕業務など共通しており経費節減が可能であるため、一括指定としたもの		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(屋内広場、野球場、庭球場)運営(利用料金制度)、自主事業を含む管理運営		
3 評価単位	施設数:2 ----- 複数施設を一括評価の場合、その理由:管理施設はいずれも公園で、同一の管理事務所にて管理しており、別個の評価をする必要がないため		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>農試公園・発寒西陵公園においては、下記の基本方針に基づき管理運営を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ▼ 関係法令・条例等を遵守し、公園利用者や市民の声の反映とその発信に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ▼ 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ▼ コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、緑資源の積極的な活用を図り、集いの場としての魅力を高める。 ▼ 市民の健康づくりの拠点と位置付け、健康とスポーツを通じて公園の価値を高める。 <p>▼ 多くの子どもたちが安全に元気よく遊ぶことができるよう、楽しく活力のある遊びプログラムを提供して公園の価値を高め、利用促進を図る。</p> <p>▼ 高齢者が健康増進のために気軽に参加できるスポーツプログラムを提供し、高齢者の公園利用促進を図る。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、全スタッフに対する教育を徹底して、公園・施設の適切な管理運営を行った。 ▼ 平等利用のための主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・屋内広場(3台)及び自転車貸出所(3台)に車椅子を計6台、管理事務所にベビーカー2台を配置した。 ・全スタッフによる接客研修を実施した。 ・バリアフリー講習に参加した。 ・火気の使用や占有利用の違法行為、不法行為に対して迅速に対応した。 ・公園内でのペットマナー啓発を目的とした、愛犬との上手な暮らし方教室(6/30)の実施、ならびに日常的な巡回指導を実施した。 ・きめ細かなホームページの更新や農試だよりの発行、掲示案内の更新により、屋内広場開放状況、サクラの開花情報、イベント開催予定等の施設利用情報を提供した。 ・イベントや維持管理作業等で一部公園内に利用制限が発生する場合には園内掲示等で周知し、有料施設利用者へは事前に電話連絡を実施するなど、適切に対応した。 	<p>当協会の管理運営基本方針の通り、市民・来園者の視点に立った効果的・安全な公園の管理を実施し、利用者の満足度向上に日々努めた結果、平成30年度の管理運営は概ね順調に遂行できた。また、防災については、近隣町内会と共同で防災イベント等を開催実施。地震や災害発生に備え緊急用小型発電機等を備えた。</p> <p>当協会の方針に則り実施し、貸し自転車やトンカチ広場、園内施設の利用者のほか、有料施設利用者、イベント・講習会参加者など、すべての方に年間を通じて平等利用を確保することにより、満足度の向上に努めた。また、年度当初や雇用開始時に、全スタッフに対して平等利用についての教育を実施したほか、日常のミーティング時にも随時指導を行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: red;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・方針どおり実施されていた。</p> <p>・適正に利用されていた。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ 北海道環境マネジメントシステムスタンダード (HES)の認証を受けて運用しているEMSに基づき、環境改善活動の推進に努めた。
- ▼ 環境目標である「電気使用量の削減」について、次のとおり取り組んだ。
 - ・屋内広場
空調の稼働時間の細かな調整や、外気温度・室内温度を測定しながら暖房の設定温度の調整を細かく行った。屋内照明点灯はタイマーによる点灯を行わず、無駄な点灯を行わないよう職員による手動点灯で管理し、節電に努めた。
 - ・屋外照明施設
利用者の利用時間をスポーツ予約システムとホワイトボードにて状況を随時確認し、職員が手動で照明を点灯・消灯して節電に努めた。
- ▼ 環境目標「特定外来植物の侵入軽減」について、農試公園・発寒西陵公園では日常監視を実施し、オオハングソウの侵入は確認されなかった。
- ▼ 園内維持管理
樹木剪定で発生した剪定枝、枯損木はチップ化し、一部園路に敷き均したほか、土壌改良用に園内花壇に散布して再利用した。また、のうし夏まつり、秋まつりで希望者各50人にチップを無料配布した。芝生刈込みにおいては、刈草収集をせず、廃棄物が発生しない管理として、定期的な刈込みを実施した。
- ▼ ごみの排出については、園内にゴミ箱を設置せず、持ち帰りのお願いを行った。空き缶やペットボトルは自販機設置業者に回収を依頼した。
- ▼ 事務用品については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者には公園実務経験21年のマネージャーを、また統括責任者の補佐・代理としてのサブマネージャーを配置した。このほか、サブマネージャーとしてボランティアコーディネーター兼務1名、園内・施設維持管理担当1名のほか、園内維持作業、受付窓口等のスタッフを配置し、円滑な管理運営業務を行った。
- ▼ 研修計画に基づき実施した研修
 - ・環境マネジメント研修 4/1、2、4 15名参加
 - ・マネージャー研修 4/11 1名参加
 - ・安全大会 4/16 8名参加
 - ・普通救命講習 I 4/19 2名受講
 - ・ウェブアクセシビリティ研修 4/25 1名受講
 - ・サービス接遇実務検定3級 6/10 1名受験
 - ・札幌市公共建築物シックハウス対策方針に関する説明会6/28 1名出席
 - ・外遊びチーム職員向け研修会『あそび場が地域をつなげる～プレーリーダーから学ぶ地域との関係づくり』 8/1 1名参加
 - ・消防訓練 8/21 9名参加
 - ・安全運転管理者講習 8/22 1名受講
 - ・遊具の日常点検講習会 8/29 1名受講
 - ・バリアフリー講習会 9/3 4名参加
 - ・安全作業講習会 10/10 10名参加
 - ・職員研修会(コンプライアンス等) 1/28、29 2名参加

EMSに基づく環境活動を推進するため、農試公園に勤務する全スタッフと清掃委託会社職員に対して、新年度業務開始時に環境目標や目標達成の手段等について教育を実施し、環境意識を持って業務にあたることができた。

・適切に行なわれていた。

適切な人員体制を確保して管理運営にあたることができた。研修等についても、ほぼ計画通りに実施した。

・計画通りに実施されていた。

- ・北海道農薬指導士認定研修 2/8 1名修了
- ・フォークリフト運転技能講習 2/8、9 1名修了
- ・小型車両系(整地等)建設機械運転者特別教育 3/4、5 2名修了
- ・フルハーネス型安全帯特別教育 3/20 3名修了

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼ 事故や苦情が発生した際は、事故報告書、苦情等報告票を作成し、組織全体で情報を共有することで、類似事故や苦情の発生防止に努めた。

▼ 屋内広場アリーナは改修工事のため6月から11月までの間アリーナの整備ができなかったことから、年次整備を12月に実施したほか、12月以降は利用状況やコンディションに応じて、不陸整正と散水を適時実施した。また、改修工事後もドームからの結露が発生し、結露水対策として、アリーナ天井の梁に設置した雨漏れ対策シートにホースを接続してバケツで結露水を受けた。バケツの水は多いときで1日4回の排水が必要となる状況だった。

▼ 野球場は毎週利用の無い時間帯に整備時間を設けて、内野の不陸整正と外野の芝刈込みを行い、良好なコンディションの維持に努めた。

▼ 硬式テニスコート(オムニコート)は、適時オムニサンドの補充を実施したほか、ボールが隣のコートに入るのを防ぐためのネットや防風ネットの設置をするなど、利便性向上に努めた。

▼ 軟式テニスコートは、不陸整正、グリーンサンドの補充・転圧を適時実施し、雨天後にはスポンジによる水抜き作業を行うなど、コートコンディションの維持に努めた。

▼ 交通コーナーの自転車貸出とトンカチ広場の利用について、職員の昼休憩時間を調整して通しでの対応を可能とし、利用者の利便性向上に努めたほか、赤色TSマーク付帯保険への加入、及びヘルメットを購入し、北海道自転車条例に適合した対応を行った。

▼ ちゃぷちゃぷ広場は週1回の定期清掃のほか、特に汚れが酷い際は追加で夜間清掃を実施した。また、気温が高い日はポンプ稼働開始時刻を早めて水温を低く保ち、藻の発生の抑制を図った。このほか、床面などの劣化部分(ひび割れ、塗装剥がれ)の補修を実施した。

▼ 駐車場は混雑状況を随時把握し、臨時駐車場を適時開放した。夏休み期間は臨時駐車場を開放して、不陸整正とライン引きを毎週適時実施し、利便性と安全性に配慮した。

苦情や要望については真摯に受け止め、改善できる内容については直ちに対応した。管理については、利用状況に合わせて対応した。管理レベル及びサービス向上に職員全員で取り組み、柔軟に対応を行い、適切に実施することができた。

・適切に行なわれていた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼ 第三者に対する委託業務等については、当協会の「工事及び委託被指名選考委員会要綱」により「札幌市競争入札工事参加資格名簿」(札幌市)の登録事業者を準用し、札幌市内の企業・団体から優先的に選考した。

▼ 農試公園等においては、屋内広場等の機械警備、消防設備点検、運動施設照明点検、ちやぶちやぶ池水質検査、自動ドア定期点検、公衆トイレ保守、空調機械設備点検、特定建築物法定点検、防火設備点検、ばい煙測定等の専門的業務のほか、トイレ清掃、屋内広場清掃、農試公園早朝駐車場開放、農試公園駐車場除雪等を第三者に委託した。

▼ 委託業務の実施に際しては、委託先から提出される業務工程表、着手届、終了・完了届、日報、報告書、点検・業務写真、現地確認等を元に、マネージャーほか複数名の検査員により履行を確認した。

第三者に対する委託業務は、委託業者と適時打合せを行い、履行を確認したほか、利用者の安全確保及び労働災害等の事故のないよう注意指導を実施し、適正な業務遂行の確保に努めた。

・適切に行なわれていた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
運営協議会 第1回 10月31日 西土木センター会議室	<p>【議題】農試公園・発寒西陵公園の管理業務実施報告</p> <p>1.統括管理に関する業務の実施状況</p> <p>(1)職員配置について</p> <p>(2)職員研修について</p> <p>(3)意見苦情について</p> <p>(4)管理水準の維持向上に向けた取組みについて</p> <p>2.施設・設備等の管理運営に関する業務の実施状況</p> <p>(1)有料施設の管理運営について</p> <p>(2)無料施設の管理運営について</p> <p>(3)利用者集計について</p> <p>(4)施設・設備の点検・修繕について</p> <p>(5)防犯・防災業務について</p> <p>3.利用促進に関する事業の実施状況</p> <p>(1)広報活動について</p> <p>(2)ボランティア活動について</p> <p>(3)市民協働・地域連携のための取組みについて</p> <p>(4)自主事業への取組みについて</p> <p>(5)マナー啓発について</p> <p>4.その他連絡事項について</p>

平成30年度は運営協議会を10月と3月の2回開催した。このほか、札幌市に対しては、日頃から必要な連絡調整等を随時行った。

・相互の意見交換において、相互の認識が確認できる有意義な会となった。

【議題】農試公園・発寒西陵公園の管理業務実施報告
 1.統括管理に関する業務の実施状況
 (1)職員配置について
 (2)職員研修について
 (3)有料施設管理運営について
 (4)管理水準の維持向上に向けた取組みについて
 2.施設・設備等の管理運営に関する業務の実施状況
 (1)有料施設の管理運営について
 (2)無料施設の管理運営について
 (3)利用者集計について
 (4)施設・設備の点検・修繕について
 (5)防災業務について
 3.利用促進に関する事業の実施状況
 (1)広報活動について
 (2)ボランティア活動について
 (3)市民協働・地域連携のための取組みについて
 (4)自主事業への取組みについて
 4.その他連絡事項について

運営協議会
 第2回
 3月13日
 西土木センター会議室

<協議会メンバー>
 第1回
 札幌市西区土木部部長、維持管理課長、公園緑化係長、事務係長、担当職員4名
 (公財)札幌市公園緑化協会 事業課担当課長
 農試公園 主任1名、職員1名
 第2回
 札幌市西区土木部部長、維持管理課長、公園緑化係長、事務係長、担当職員4名
 (公財)札幌市公園緑化協会 事業課担当課長
 農試公園 主任1名、職員1名

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。
 ▼ 団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
 ▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等の事故は発生していない。

・適切に管理されていた。

	<p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 要望・苦情に対しては、適切に対応・回答し、すぐに改善可能な内容は迅速に対応した。また、施設・遊具の修繕等の高額費用の掛かる要望については、適時札幌市に報告し、協議を実施した。 ▼ 要望・苦情は、当協会統一様式の苦情等対応報告票に記載して報告し、組織全体で共有した。当公園内では、スタッフがいつでも閲覧できるようにミーティングルーム、管理事務所内の所定の位置に保管し、閲覧することで情報・意識を共有した。 ▼ 毎朝のミーティング時に、要望・苦情報告をスタッフ全員に周知した。また、夜間窓口受付パートについては、昼の窓口受付引き継ぎ時に周知徹底した。 <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 屋内広場ツインキャップ内にご意見箱を常設したほか、利用者に対するアンケートを適時実施し、公園利用者の満足度や要望等の把握に努めた。このほか、イベント開催時にも参加者に対してアンケートを実施し、イベント内容の改善や要望を受けた新規講習開催の検討等に役立てた。 ▼ 仕様書に定めのある月報、四半期報告、年度報告書その他記録書類は、集計、整理後速やかに札幌市へ提出し、また適正に保管した。このほか、札幌市の検査に適切に対応し、依頼のあった調査等については、期日までに報告を行った。 ▼ 公園利用者からの意見・苦情・要望等を集計・分析し、業務改善につなげることで継続的な管理レベルの向上と利用者の利便向上に努めた。 ▼ 自己評価の結果を公園利用者が閲覧できるよう受付前に設置し、計画通りに管理運営や市民サービスが行われているかをモニタリングした。是正が必要な場合は改善し、当公園の全スタッフに周知・反映させるよう指導を行った。 	<p>要望・苦情に対しては、迅速に対応した。</p> <p>報告書を適切に作成・提出し、依頼のあった調査等への報告も遅延なく対応した。</p>	<p>・適切に対応していた。</p> <p>・適正な対応がされていた。</p>
--	--	---	---

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金835円(平成30年10月1日発効、発行前までは810円)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、届出、公開、周知した。	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。 安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1246 152 1294 185">A</td> <td data-bbox="1294 152 1342 185">B</td> <td data-bbox="1342 152 1390 185">C</td> <td data-bbox="1390 152 1444 185">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1246 185 1444 1310"> 適切に対応されていた。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	適切に対応されていた。			
	A	B	C	D							
適切に対応されていた。											

	<p>▼ 安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼ 維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <p>▼ 公的資格の取得支援、待遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。</p> <p>▼ 第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p> <p>▼ 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けた。</p>		
(3) 施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼ 利用者の安全確保及び作業時の事故防止等のために下記の取組・対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全教育による事故防止と普通救命講習受講等により、緊急事態時の即時対応が常時可能な体制を構築した。 ・作業機械の整備不良による事故防止のため、適切な点検・整備を実施した。 ・ハザードマップの作成・公開や、ヒヤリハット事例の収集による事故防止に努めた。 ・公園管理スタッフと委託業者に対して、緊急時に迅速な対応がとれるよう緊急連絡網(責任者不在時対応を含む)を周知・共有し、自転車貸出所、ミーティングルーム、管理事務所内に掲示した。 ・公園維持管理作業にあたっては、利用者の支障にならないよう、公園利用届の情報共有、利用状況に応じた作業の変更、作業実施についての十分な案内・周知により、安全確保に努めた。 <p>▼ 法令遵守・利用指導による公正とサービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守と有資格者による作業実施を徹底した。 ・拾得物法に基づいた対応マニュアルに則して、公園の拾得物・遺失物を適正に取り扱った。 ・適切な利用指導により、不正利用・違法行為の排除に努めた。 ・利用者への周知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ・指定管理期間中の管理業務実施にあたり、当団体の過失または故意により札幌市または第三者等に損害を与えた場合に備えて、損害賠償責任保険に加入した。 	<p>朝礼や昼休み時間、研修を通じて作業及び利用における安全意識の徹底を図り、安全を確保することができた。</p> <p>急病者等に的確に対応するため、普通救命講習を受講し、救急車要請時には迅速に対応することができた。</p>	<p>A B C D</p> <p>適切に対応されていた。</p>

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼ 施設・設備については、常に適切かつ清潔な状態に維持管理・調整し、安全、快適かつ楽しく利用できるように努めた。
- ▼ 法定点検・検査等の必要な自動ドア、空調設備、防火設備、電気設備、機械警備、ばい煙発生施設、遊具等については、専門業者による点検・検査を実施した。
- ▼ 照明、空調等の各種設備や作業機械等については、日常・定期点検や作業前点検等を実施し、不具合の早期発見や抑制、安全確保に努めた。
- ▼ 遊具については、毎日の巡回時の目視等点検、週1回の直営による点検のほか、専門業者による精密点検を年2回実施し、経年劣化等による危険性を早期に発見して安全を確保した。
- ▼ 春～秋の土日祝日及び夏休み期間中は、多目的広場を臨時駐車場として開放し、その他の平日においても駐車場の混雑状況に合わせて開放した。

- ▼ 交通コーナーについては、毎日の開放前にコースと信号等設備の点検を実施した。自転車は貸出前にブレーキ等を点検し、不良箇所は随時整備・調整して、利用者の安全確保に努めた。また、北海道自転車条例への対応として、有資格者による点検を実施して赤色TSマーク付帯保険に加入したほか、自転車用ヘルメットを追加購入した。
- ▼ ちゃぶちゃぶ広場については、4月始めより井戸ポンプを稼働させて赤水を排出し、ちゃぶちゃぶ池の傷んだ塗装面を補修して開放した。開放前にガラスや石等の異物がないかの確認と、塩素消毒と水質測定を毎日実施し、安全な利用環境の確保に努めた。
- ▼ 植物の維持管理は、園内の植物の特性を考慮した年間作業計画に基づき実施した。来園者の利用と安全に配慮しつつ、適切な時期や方法を選び、管理経費の節減を念頭に置いて作業を行った。
- ▼ 芝生については、スポーツ利用など各エリアの目的に合わせた管理を行った。また、駐車場の草刈り日には、多目的広場に臨時駐車場を開設し、車両の無い状態で作業を行うなど、安全の確保に努めた。
- ▼ 園内の枯損木、枯れ枝は安全確保のため迅速に処理し、住宅地に隣接するポプラの剪定などについては、状況に合わせて適切な剪定を行った。
- ▼ 冬期は、積雪状況に応じて園内の四阿・パーゴラの雪下ろし、施設出入口周りの除雪を適宜実施し、安全を確保した。スキースロープについては、安全に利用できるように防護ネットを設置し、スキーとソリの利用を区分した。ソリによる事故防止のため注意看板を設置したほか、スキースロープ注意放送を実施し、巡回確認した。
- ▼ 歩くスキーコースは、積雪状況に合わせて整備回数を増やして対応したほか、散策利用のコースを並行して設置し、歩くスキー利用者と歩行者の区別による安全確保に努めた。

施設や設備に関する苦情や要望を受けた際には迅速に対応し、年間を通じて概ね良好に維持管理を実施することができた。
劣化した遊具等について、直営の修繕で一部対応したほか、危険性の高いものについては札幌市に報告・相談を行い、使用禁止等の措置を取った。

植物の維持管理は概ね良好に実施できた。

積雪や落雪による施設の損傷や事故等の発生は無かった。

・適切に実施された。

・良好に維持管理されていた。

	<p>▽ 防災</p> <p>予防・未然防止対策等を含む防災計画を策定し、公園利用者及び地域住民の安心・安全を確保するよう努めた。</p> <p>▼ 4/1、2に消火器・消火栓の取り扱い、AED設置箇所、緊急連絡網、自衛消防隊の役割分担等についての研修を行った。</p> <p>▼ 8/21に外部講師(防災関係者)を招いて消防訓練を実施した。</p> <p>▼ 1/19に開催したイベント「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう! 2019」の同時開催イベントとして、市民の防災意識向上を目的としたイベント「見る、知る、体験冬の防災DAY2019」を開催し、かまくらを使った防寒体験やロープ投げゲームなど、冬の防災に役立つイベントを八軒地区全体の防災事業の一環として実施した。</p> <p>▼ 台風や強風時、火災・地震発生時、河川増水時の対応手順の教育を当公園全スタッフに対して実施した。</p>	<p>訓練、研修は毎年継続して実施しており、今後も農試公園全スタッフの防災や緊急時への意識をさらに高めていきたい。</p> <p>防災イベントとしては2回目となる「見る、知る、体験冬の防災DAY2019」を開催し、市民の防災意識の向上や、災害に備えることの大切さを啓発することができた。</p>	<p>・適切に実施された。</p>				
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 各種体験・学習機会の提供業務</p> <p>▼ 体験イベント、体験型講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ教室 4/21午前・午後2回 計40人(計画40人) ・トンカチ広場で箸を作ろう 5/12 計16人(計画30人) ・自転車教室 5/20 計29人(計画30人) ・忍者になって修行だ 6/16 計23人(計画30人) ・トンカチ広場でテーブルサッカーゲームを作ろう 6/23 20人(計画28人) ・愛犬との上手な暮らし方教室 6/30 4組(定員無し) ・琴似発寒川さかなウォッチング 7/21 17人(計画25人) ・トンカチ広場でゴムプロペラポートを作ろう 7/29 20人(計画30人) ・公園であそぼ 8/2 126人(計法定員無し) ・素焼きの鉢で風鈴づくり 8/8 42人(計画40人) ・公開さかな調査 8/11 36人(計法定員無し) ・トンカチ広場で木製チェアを作ろう 8/26 14人(計画30人) ・農試公園ベンチ塗装プロジェクト 9/2 計19人(計画50人) ・秋の星空観望会 10/4 計34人(計画100人) ・琴似発寒川サケ観察会 10/6・11/3 296人(計法定員無し) ・ハロウィーンリースづくり 10/13 計10人(計画20人) ・トンカチ広場でびっくりハロウィーン貯金箱を作ろう 10/13 計2人(計画30人) ・葉っぱスタンプでトートバックづくり 11/3 計40人(計画100人) ・ハーバリウムづくり 11/11 計17人(計画20人) ・クリスマスリースづくり 12/1・2 計45人(計画50人) ・しめ縄リースづくり 12/15 計22人(計画15人) ・門松づくり 12/16 計17人(計画20人) ・新春干支凧づくり 1/6 計43人(計画30人) ・わいわいタイヤチューブ運行 1/5～3/3まで土日祭日の16日間 計2,244人(計画2,500人) ・冬のまちにスノーキャンドルの灯をともそう2018 1/20 ・ナチュラルリースづくり 3/26 計26人(計画20人) 	<p>親子で気軽に参加できる体験プログラムを多数実施し、好評だった。利用者のニーズに合わせて内容、実施方法・時期、募集人数等を見直し、今後も開催していきたい。また様々な媒体で広報することによって参加者増を図り、一層の公園利用促進につなげたい。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffcccc;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>・利用者ニーズに合った利用増進を継続して努めていた。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▼ 園芸講習会

- ・のうしグリーンマーケット(寄せ植え)5/3・4・5 12人(計画20人)
- ・ペットボトルでハンギングプランターづくり5/12 3人(計画30人)
- ・3株で作る寄せ植え講習会 6/23・24 計29人(計画30人)
- ・苔テラリウムづくり 10/6・7 計15人(計画60人)
- ・苔玉づくり 3/9・10 計50人(計画60人)
- ・種まき講習会 2/23 計12人(計画20人)

▼ スポーツ教室

- ・かけっこ教室 4/21午前・午後2回 計40人(計画40人)
- ・かけっこ教室 5/20午前・午後2回 計40人(計画40人)
- ・ノルデックウォーキング講習会 5/20 計12人(計画20人)
- ・ノルデックウォーキング講習会 9/1 5人(計画30人)
- ・はじめてのスキー教室 1/6 5人(計画5人)
- ・パークゴルフ初心者講習会 1/9 6人(計画30人)
- ・歩くスキー初心者講習会 1/12・2/9 2日間 24人(計画40人)

▼ 季節のまつり

- ・第9回のをし夏まつり 7/21、22、2日間 約1,600人(計画2,000人)
- ・第11回のをし秋まつり 9/22、23 2日間 約900人(計画3,000人)

▽ 公園のサクラや紅葉に関する情報収集・提供業務

- ▼ 農試公園・発寒西陵公園のサクラの開花状況や紅葉の状況については、定期的に確認・撮影を行い、園内掲示板への掲示のほか、ホームページに定期的に掲載した。また、利用者からの状況等の問合せに対して、確認状況に基づき、適切に案内を行った。

・適切に実施された。

▽ 公園における市民の自主活動及び交流の支援業務

【市民ボランティアとの連携】

・農試公園屋内広場サンルームの屋内緑化植物維持管理ボランティア「カポック」との協働で、サンルームの観葉植物の維持管理や園内花壇3箇所の植え込み、灌水等の活動を行った。また、活動に必要な花苗、肥料や土壌改良材、鉢等の資材・用具の購入、貸出し等により、活動の支援を行った。
・屋外ゲートボールコート・多目的広場で活動している西区ゲートボール協会、及び札幌ペタンク協会(両団体とも当協会ボランティア未登録)に対して、コート維持活動(除草・石拾い等)に使用する用具類を貸し出した。

【西区との連携】

・5/8、農試公園にて、八軒地区福祉のまち推進センターによる「福まち春のウォーキング」が実施された(農試公園との共催)。屋内広場アリーナの貸出、開催準備等の協力を行った。
・5/23、八軒会館にて開催された「八軒まちづくり協議会」第1回全体会に初出席した。平成29年度事業報告・収支決算・監査報告、平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)、規約改正、平成30年度役員選出が行われた。※農試公園管理事務所は平成29年度から加入
・5/19、農試公園横の琴似発寒川にて、西区役所市民部地域振興課主催による「やまめの稚魚放流事業」が実施され、開催準備等の協力を行ったが、開催当日に雨天で川が増水し、中止となった。
・2/23、24、西区役所市民部地域振興課主催による「西区雪合戦大会」が実施され、開催準備等の協力を行った。

【教育機関との連携】

・6/6(水)、八軒西小学校3年生40名が総合的な学習の時間として、フラワープランターへの花植えを実施した。その後、路上駐車防止を目的として、プランター70鉢を公園沿いの農試公園1号線歩道に設置した。
・11/1、毎年恒例である八軒西小学校3年生40名が授業の一環として、チューリップの球根の植え付けを実施予定であったが悪天候により中止となり直営にて植え込みを実施した。
・2/12、八軒西小学校3年生40名が総合的な学習の時間として、雪像造りや雪あそびを実施した。作成した雪像は、来園者用の案内を設置し、約一週間展示した。

【各種協力機関との連携】

・8/26、西区運動施設活用協議会(スポーツカルチャーネットワーク)の協力事業として、「ちえりあフェスティバル」に参加し、ダンボール迷路(当公園所有)の設置及び利用者対応を行うとともに、農試公園のPRを実施した。

公園の積極的利用による活性化を共に目指していただけるボランティアの育成に努めた。今後は講師や協働のイベント開催等も推進していきたい。

今後も西区(西区役所、西区八軒地域連合町内会、八軒まちづくりセンター等)、教育機関(八軒西小学校等)、各種協力機関(西区運動施設活用協議会等)、公園ボランティアとの一層の連携を図り、活動の場を積極的に提供するとともに、市民協働による公園管理の活性化、利用促進向上と地域防災の拠点として取組みに努めたい。

・適切に実施された。

	<p>▽ 緑化等に関する相談業務</p> <p>▼ 業務としての相談対応は実施していないが、市民から受付窓口と電話による相談があり、可能な範囲で対応した。</p>	<p>市民や公園利用者から観葉植物の育て方や花に関する相談が多く寄せられ、対応を行った。今後も適切に対応していきたい。</p>	<p>・適切に実施された。</p>																																																																																																					
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="379 474 979 1128"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29実績</th> <th>H30計画</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">屋内広場</td> <td>人数(人)</td> <td>54,199</td> <td>-</td> <td>18,406</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>83</td> <td>-</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">野球場</td> <td>件数(件)</td> <td>528</td> <td>-</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>24,037</td> <td>-</td> <td>25,124</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">軟式庭球場</td> <td>件数(件)</td> <td>594</td> <td>-</td> <td>426</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>6,577</td> <td>-</td> <td>3,284</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>24</td> <td>-</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">硬式庭球場</td> <td>件数(件)</td> <td>1,766</td> <td>-</td> <td>1,751</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>9,647</td> <td>-</td> <td>7,933</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">発寒西陵公園硬式庭球場</td> <td>件数(件)</td> <td>369</td> <td>-</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>1,810</td> <td>-</td> <td>1,843</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>12</td> <td>-</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="379 1169 979 1541"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29実績</th> <th>H30計画</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公園利用届</td> <td>人数</td> <td>8,147</td> <td>-</td> <td>10,133</td> </tr> <tr> <td>多目的広場</td> <td>人数</td> <td>10,667</td> <td>-</td> <td>6,726</td> </tr> <tr> <td>ちゃぶちゃぶ広場</td> <td>人数</td> <td>6,162</td> <td>-</td> <td>5,855</td> </tr> <tr> <td>交通コーナー</td> <td>人数</td> <td>36,238</td> <td>-</td> <td>32,974</td> </tr> <tr> <td>トンカチ広場</td> <td>人数</td> <td>17,574</td> <td>-</td> <td>15,793</td> </tr> <tr> <td>公園利用届 発寒西陵公園</td> <td>人数</td> <td>5,318</td> <td>-</td> <td>4,805</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 農試公園 不承認0件、減免254件、還付157件</p> <p>▽ 発寒西陵公園 不承認0件、減免10件、還付34件</p>			H29実績	H30計画	H30実績	屋内広場	人数(人)	54,199	-	18,406	稼働率(%)	83	-	27	野球場	件数(件)	528	-	502	人数(人)	24,037	-	25,124	軟式庭球場	件数(件)	594	-	426	人数(人)	6,577	-	3,284	稼働率(%)	24	-	19	硬式庭球場	件数(件)	1,766	-	1,751	人数(人)	9,647	-	7,933	稼働率(%)	45	-	45	発寒西陵公園硬式庭球場	件数(件)	369	-	432	人数(人)	1,810	-	1,843	稼働率(%)	12	-	29			H29実績	H30計画	H30実績	公園利用届	人数	8,147	-	10,133	多目的広場	人数	10,667	-	6,726	ちゃぶちゃぶ広場	人数	6,162	-	5,855	交通コーナー	人数	36,238	-	32,974	トンカチ広場	人数	17,574	-	15,793	公園利用届 発寒西陵公園	人数	5,318	-	4,805	<p>屋内広場の利用人数は今年度、大規模改修により6月から12月の期間使用できなかったこともあり、前年度比で約66%減となった。供用を再開した1月以降の稼働率は平均75%となり、一般開放枠と併せてほぼ空きが無い状態となった。</p> <p>屋外施設の利用件数について、野球場は前年比5%減、硬式テニスコートは1%減、軟式テニスコートは28%減、発寒西陵公園の硬式テニスコートは17%増となった。9月に起こった胆振東部地震の影響により、キャンセル等が発生したことが利用件数の減少の原因と考えられる。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 443 1441 474"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: red;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・利用増加につながる方策実施していた。</p>	A	B	C	D
		H29実績	H30計画	H30実績																																																																																																				
屋内広場	人数(人)	54,199	-	18,406																																																																																																				
	稼働率(%)	83	-	27																																																																																																				
野球場	件数(件)	528	-	502																																																																																																				
	人数(人)	24,037	-	25,124																																																																																																				
軟式庭球場	件数(件)	594	-	426																																																																																																				
	人数(人)	6,577	-	3,284																																																																																																				
	稼働率(%)	24	-	19																																																																																																				
硬式庭球場	件数(件)	1,766	-	1,751																																																																																																				
	人数(人)	9,647	-	7,933																																																																																																				
	稼働率(%)	45	-	45																																																																																																				
発寒西陵公園硬式庭球場	件数(件)	369	-	432																																																																																																				
	人数(人)	1,810	-	1,843																																																																																																				
	稼働率(%)	12	-	29																																																																																																				
		H29実績	H30計画	H30実績																																																																																																				
公園利用届	人数	8,147	-	10,133																																																																																																				
多目的広場	人数	10,667	-	6,726																																																																																																				
ちゃぶちゃぶ広場	人数	6,162	-	5,855																																																																																																				
交通コーナー	人数	36,238	-	32,974																																																																																																				
トンカチ広場	人数	17,574	-	15,793																																																																																																				
公園利用届 発寒西陵公園	人数	5,318	-	4,805																																																																																																				
A	B	C	D																																																																																																					

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 屋外有料施設の開放時間等を札幌市と協議の上変更し、利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>利用時間及び夜間照明点灯時間の変更内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農試公園野球場A、庭球場夜間照明点灯開始時刻 4/20-4/28 午後6時(30分早く点灯) 11/4-11/20 午後4時(30分早く点灯) ・農試公園硬式及び軟式テニスコート利用時間 4/20-9/30 午前5時～午後8時(2時間延長) 4/20-11/20 午前6時～午後8時(1時間延長) ・発寒西陵公園硬式テニスコート利用時間 6/1- 8/31 午前5時～午後7時(2時間延長) 9/1- 9/30 午前5時～午後6時(2時間延長) 10/1-11/3 午前6時～午後5時(1時間延長) 11/4-11/20 午前6時～午後4時(1時間延長) <p>▼ 有料施設屋内広場A面テニスコートの専用利用のキャンセルが発生した場合は、キャンセル待ち利用者に連絡して施設の利用を呼びかけた。また、随時A面テニスコートの空き状況を屋内広場に掲示した。</p> <p>▼ テニスラケット、テニスボール、サッカーボール、野球のグローブ・ボール、バトミントンラケット等のスポーツ用品の貸出しを行った。</p>	<p>屋外有料施設の開放時間変更により、利用のニーズに適切に対応することができた。</p>	<p>・利用増加に繋がる対応を行っていた。</p>								
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ホームページにイベントや各種講習会募集情報等を随時掲載するなど、頻繁な情報発信を行った。 ▼ 農試公園HPのアクセス件数は100,908件となり、前年度(105,051件)から4%減となった。発寒西陵公園は5,965件となり、前年度(4,653件)から28%増となった。 ▼ 各種情報誌等に公園情報の掲載を依頼した。 ▼ 報道番組や新聞等の取材は積極的に受け入れ、丁寧で正確な対応を心掛けた。 ▼ 当団体の管理する公園等の利用情報を掲載している「さっぽろ公園だより」に、農試公園のイベント情報等を掲載した。 ▼ 「農試公園だより」を毎月約3,500部発行し、札幌市内公共施設等のほか、農試公園の近隣町内会にも配布を行った。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を、平成31年3月15日に公開した。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>市民や公園利用者が必要としている情報を、適時・適切に提供することができた。</p> <p>「広報さっぽろ」にイベント情報等が掲載されなくなったことにより、公園ホームページから情報を得る利用者が増えている。タイムリーかつ高頻度にホームページを更新し、よりきめ細やかな情報発信に努めた。</p> <p>また、「農試公園だより」を定期的に近隣に配布することで、ホームページを見ることができない利用者にも広く情報発信することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">A</td> <td style="background-color: #ff0000;">B</td> <td style="background-color: #cccccc;">C</td> <td style="background-color: #cccccc;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・適切に情報提供していた。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・適切に情報提供していた。			
A	B	C	D								
・適切に情報提供していた。											

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
<p>▼ 販売・貸出等</p> <p>【継続販売・貸出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンカチキット販売 861人 430,500円 ・売店収入(自然素材を使ったリース等の販売) 117,440円 ・歩くスキー用具貸出 753人 150,400円 ・ソリ貸出 217人 21,700円 ・スポーツ用品貸出 73人 11,150円 <p>▼ 各種体験・学習機会の提供 (実施一覧は前掲、収入があったもののみ記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめての自転車教室 58人 29,000円 ・のうしグリーンマーケット(寄せ植え体験) 12名 15,500円 ・3株でつくる寄せ植え講座 29名 14,500円 ・忍者になって修行だ! 23人 6,900円 ・素焼きの鉢で風鈴づくり 42人 12,600円 ・ハロウィンリースづくり 10人 10,000円 ・クリスマスリースづくり 45人 67,500円 ・しめ縄リースづくり 22人 22,000円 ・門松づくり 17人 17,000円 ・わいわいタイヤチューブ 2,244人 505,500円 ・新春ワン凧づくり 43人 34,400円 ・ナチュラルリースづくり 26人 13,000円 ・のうしトンカチ塾(年4回実施) 延べ56名 86,000円 ・ペットボトルでハンギングプランターづくり 3人 3,000円 ・苔テラリウムづくり 15名 22,500円 ・葉っぱでトートバッグづくり 40名 12,000円 ・ハーバリウムづくり 17名 25,500円 ・種まき講習会 12人 9,600円 ・苔玉づくり 50人 50,000円 ・かけっこ教室 80人 40,000円 ・ノルディックウォーキング講習会 17人 8,500円 ・パークゴルフ初心者講習会 6人 3,000円 ・歩くスキー初心者講習会 24人 24,000円 ・はじめてのスキー教室 5人 5,000円 ・のうしサッカースクール 延べ841人 890,000円 ・のうしかけっこスクール 延べ576人 588,000円 ・第9回のうし夏まつり 約1,600人 192,200円 ・第11回のうし秋まつり 約900人 107,500円 <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼ 第三者に対する委託業務については、すべて札幌市内の業者に発注した。</p> <p>▼ 消耗品・原材料等の物品についても、札幌市内の業者から購入した。</p>	<p>トンカチキットの販売はトンカチ広場の利用者が減少したことにより、昨年度と比較して約7%減少したが、売店収入は農試公園の自然素材を使用したリース等の販売が好調で、約11%増加した。</p> <p>また、歩くスキー用具の貸出については、講習会の開催やホームページでのPRにより、昨年度より約42%増加した。</p> <p>各イベントの参加料について、前年度の参加率、イベント開催に係る支出等を踏まえ、適正な価格設定を図り、健全なイベント運営に努めた。</p> <p>人気の「自転車教室」の参加人数を増やすなど、利用者の要望を取り入れたイベント運営に努めた。</p> <p>また、人気の高かった「かけっこ教室」を通年開催とし、閑散期の施設の利用活性を図るとともに、利用者の満足度向上にもつなげることができた。</p>	<p>・適切に情報提供していた。</p> <p>各種自主事業の取り組みが良好に行われていた。</p>
<p>▼ 第三者に対する委託業務については、すべて札幌市内の業者に発注した。</p> <p>▼ 消耗品・原材料等の物品についても、札幌市内の業者から購入した。</p>	<p>札幌市内の業者に業務を委託し、適正に遂行された。</p>	<p>・適正に処理された。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	公園利用者・運動施設利用者・イベント参加者に対してアンケートを実施した(サンプル数443件)。	平成30年度は総合・接遇満足度ともに札幌市要求水準を大きく上回った。	・総合及び接遇満足度が、要求水準よりも大幅に上回っていることを評価する。			
結果概要	総合的な満足度は、要求水準70%に対して92.7%と大幅に上回った。 スタッフの接遇に対する満足度は、要求水準80%に対して93.4%と10%以上上回った。					
利用者からの意見・要望とその対応	農試公園アンケートの自由記述(一部) 【良かった】 ・(イベント参加者)自転車に乗れるようになって嬉しい。 ・イベント開催数が多い。 ・参加しやすいイベントが多い。 ・交通コーナーが無料で利用できる。 ・イベントの価格設定が安いのが良かった。 ・自転車の練習が無料でできる。 ・安全に子どもを遊ばせることができる。 【悪かった】 ・もっとイベント数を増やしてほしい。 ・駐車場が狭い。 ・ちやぷちやぶ池の水質がだんだん悪くなっている。 ・古い施設が多いので新しくしてほしい。 アンケートで寄せられた要望等への対応について ・人気のイベントに関しては開催回数を増やし、多くの方が参加できるよう配慮した。 ・ちやぷちやぶ池については、毎週金曜日の定期清掃のほか、水質・施設の汚れの状況に応じて、毎週火曜日の午後5時以降に清掃作業をに実施した。また、殺菌消毒用の塩素剤投入および残留塩素濃度測定を毎日実施し、水質改善に努めた。					
		アンケートの記述等による利用者からの意見、要望に対しても、可能な範囲で即時対応に努め、利用者が安心・安全・快適に利用できる環境の確保に努めた。				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H30計画	H30決算	差
収入	103,760	106,238	2,478
指定管理業務収入	98,911	98,737	▲ 174
指定管理費	80,728	86,546	5,818
利用料金	18,183	12,191	▲ 5,992
その他	0	0	0
自主事業収入	4,849	7,501	2,652
支出	103,760	103,998	238
指定管理業務支出	101,710	98,978	▲ 2,732
自主事業支出	2,050	5,020	2,970
収入-支出	0	2,240	2,240
利益還元	0	0	0
法人税等	0	251	251
純利益	0	1,989	1,989

▽ 説明

《収入》

▼ 利用料金: 農試公園屋内広場アリーナの改修工事が6月1日から11月末まで実施されたほか、地震により被害を受けたアリーナ搬入口シャッターの交換工事等もあり、屋内広場アリーナの利用ができなかったことから減収となった。

▼ 自主事業: 通年事業(のうしサッカースクール・かけっこ教室)の継続開催、トンカチキットの販売、農試公園の自然素材を活用したハアバリウム・リース等々各種売店商品の発売開始等の取り組みにより、計画に対して増収となった。

《支出》

▼ 指定管理業務: 維持管理作業に要する消耗品、緊急災害時に使用する備品購入、施設老朽化に伴う修繕費、作業車両の賃借料などの支出が多くなった。

▼ 自主事業: イベント・講習会等を多数開催した結果、掛かる経費もかさみ、計画より増加した。

平成30年度は、屋内広場の改修工事に伴い利用料金収入が減収となったが、イベント・講習会などの開催を増やしたことにより自主事業の収入増となった。また、光熱水費の節約等により、収支は約1,989千円のプラスとなった。

しかし、支出については、施設の修繕費、及び修理に使用する部材購入に多くの経費が掛かった。また、各種自主事業(イベント・講習会、売店商品、トンカチキット等)の準備に必要な材料費や講師料が多く掛かっており、次年度は各事業の開催期間と内容を検証し、収支改善に努めたい。

A	B	C	D

・収支については適切な処理がされていた。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼ 当団体の財務状況等は、平成30年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
 ▼ 情報公開請求はなかった。
 ▼ 当公園の管理等に係るオンブズマンの現地調査はなかった。
 ▼ 公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。
 ▼ 物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>【統括管理業務】 ・環境に配慮した公園管理として、これまで積み重ねてきた維持管理作業経験の継続実施により大きな成果を上げている植物リサイクルや節電等について、30年度もスタッフ全員で取り組み、おおむね良好なレベルを維持することができた。</p> <p>【労働関係法令遵守、雇用環境維持向上】 ・公園スタッフに対して、接遇や管理技術等の講習、技術指導、防災(緊急時)対応訓練等を適切に実施し、管理の質におけるレベルアップを図ることができた。</p> <p>【施設・設備等の管理運営】 ・農試公園及び発寒西陵公園の維持管理業務において、平成30年度は全般に天候に恵まれたが、荒天(大雨、強風、台風、暴風雪等)となる日もあった。また、大きな地震の発生もあり、予定していた作業の変更も余儀なくされたが、作業はほぼ計画通りに実施できた。 ・有料施設の利用については、利用環境の改善・整備に努めた結果、良好な状態に保つことができ、順調に利用人数、利用者満足度を獲得することができた。</p> <p>【利用促進】 ・農試公園及び発寒西陵公園のホームページにて、園内のサクラの開花情報や紅葉の状況をはじめ、公園の四季の魅力ある風景について、タイムリーな情報発信に努めた。また、イベント情報や各種講習会の作品見本等を随時ホームページ等に掲載し、広く参加者募集を図った。さらには、様々な利用者が情報を容易に取得できるようウェブアクセシビリティに配慮し、ホームページの掲載内容や見易さについて随時見直しを図った。 ・イベントについては、手作り工作、園芸に関する講習会のほか、スポーツに関する講習会を多数企画・開催した結果、多くの参加者を獲得できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の重点取組事項としては、農試公園のスポーツ施設の活用を目的としたスポーツイベント・講習会の強化、各種園芸講習会開催によるみどりの普及啓発に引き続き積極的に取り組む。 ・農試2号線より南側の公園施設は全体的に老朽化が進行しているため、園内各所の点検・補修等を適切に進めることで、利用者の安全を確保し、安心して楽しめる環境を提供できるよう、継続的な維持管理を進めていく。 ・運動施設は計画に従って定期的な整備を行うことにより、利用者が快適に使用できる環境を整え、更なる利用者増へ繋げる。 ・広報に力を入れ、作品見本の事前展示などにより、講習会の参加人数を増やす。 ・西区(西区役所、西区八軒地域連合町内会、八軒まちづくりセンター等)、教育機関(八軒西小学校等)、各種協力機関(西区運動施設活用協議会等)、公園ボランティア等との一層の連携を図り、市民協働による公園管理の活性化、利用促進に努める。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>アンケートによる利用者の満足度が、要求水準よりも大幅に上回っていること、業務の達成水準、自主事業など良好に運営管理されていることから良好と評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に改善に取り組み、利用者満足度の向上に努めてください。 ・施設の日常点検により不具合などを早期に改善して、利用者への快適な提供を行うようにしてください。 ・公園樹木の適切な管理をしてください。 ・今後の再整備に向け、現場レベルでの対応・協力をお願いします。